

2015年7月8日

## エアバス社の EFB アプリ「FlySmart with Airbus」を導入 ～より安全で高品質なオペレーションの実現を目指します～

- ・ 運航に関するマニュアル類を電子化し、タブレット端末で閲覧が可能に
- ・ 離着陸性能計算ソフトで離着陸時の機体性能を最適化、高品質なオペレーションが可能に
- ・ マニュアル電子化による機体への負荷軽減で、燃費の向上と CO<sub>2</sub> 排出量の削減を実現

Peach Aviation株式会社(以下:Peach、代表取締役CEO:井上 慎一)は、本日、高品質なオペレーションの実現とサービス品質の向上のため、Airbus S.A.S.(以下:エアバス社)が提供するEFB(エレクトロニック・フライト・バッグ)「FlySmart with Airbus」を導入\*<sup>1</sup>することを決定しました。

「FlySmart with Airbus」は、iPad\*<sup>2</sup>などのタブレット端末用として開発されたもので、パイロットが使用する運航に関するマニュアル類がタブレットの画面上で閲覧できるほか、最適な離着陸時の機体性能を算出できる計算ソフトなどが組み込まれています。これを使用した高品質なオペレーションを実現するため、エアバス社の全面的なバックアップの下、本格的な導入を進めてまいります。なお、Peach では、ソフトバンク株式会社の協力により iPad を導入して本システムを運用する予定です。なお、導入が実現すれば、本邦航空会社では初めてのこととなります。

導入効果としては、情報周知媒体を電子化することにより規程やオペレーションの変更に迅速に対応できるほか、離着陸性能計算ソフトの活用により、機体重量に応じた安全かつ効率的な離陸性能の算出や、上空のコックピット内でリアルタイムの滑走路の状況や気象情報をもとに最適化された着陸性能にてオペレーションが可能となり、安全かつ高品質なオペレーションが期待できます。

また、環境面においても、コックピットに搭載されていた膨大な量の紙マニュアルを電子化することにより、機体への負荷を軽減し、燃費の向上と CO<sub>2</sub> 排出量の削減を実現します。

Peach では、より安全で高品質なオペレーションを実現するとともに、さらなるサービス品質の向上を目指してまいります。

\*<sup>1</sup> 本システムの導入は、関係当局の承認を前提としております。

\*<sup>2</sup> iPad は Apple Inc.の商標です。

